

つうしん  
「うちどく」通信～2017.9～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕



**1年 ゆかり 『これはのみのぴこ』谷川俊太郎 Eタ 聞いた人：お母さん**

ゆかり：ぴこがすごかったです。ぴこは、ちいさくてまめつぶみたいです。おうむをぬすんだところがだいすきです。よむとつかれます。ねこのしゃるるがかわいいです。  
お母さん：とちゅうで自分の感想を入れながら大きな声で読んでくれました。

**1年 はやと 『ぼくのくつした』 (おうちの本) 読んだ人：お父さん**

はやと：くつしたはなかったけど、みつかってよかったです。  
お父さん：家の中には、ぼくのくつしたとおなじようなものがいっぱい。次から、ちがうもようのくつしたをおすすめしたい。

**2年 そうま 『はははのはなし』加古里子 (かがくえほん) 聞いた人：お父さん**

そうま：はって、だいじだなおもいました。  
お父さん：はじめ、だimeiを見て、えがおの本かとおもいました。まさか、歯(は)の本だとはおもいませんでした。歯(は)について知っていること、この本をいっしょによんではじめて知ったこともあり、とてもべんきょうになりました。

**2年 はるひ 『つめたくてべとべとしたやつのずかん』テレサ・グリーンナウエイ 48ク 聞いた人：お母さん**

はるひ：トビヘビが、木をすべるようにわたるなんてすごかったです。  
お母さん：こんなのがあるんだよ、とうれしそうに読んでくれました。いろいろな種類の虫がいてびっくりしました。

**3年 まさき 『かたつむりのペットンさん』仁科幸子 (おうちの本) 聞いた人：お父さん**

まさき：ペットンさんは、花をしぼって花の絵の具を作っていたからすごいと思いました。ペットンさんは、どんなによごれていてもからをきれいにしてくれるから本当にすごくてかしこいかたつむりでした。からのえがとってもきれいでかわいかったです。  
お父さん：ペットンさんのすてきなアイデアで、かたつむりのからが次々とリフレッシュされました。ユニークな物語でした。

**3年 ここな 『おいらはこまたろう』もとしたいづみ (おうちの本) 聞いた人：お母さん**

ここな：おゆうちゃんがだいじそうにしていたじてんしゃのところにはいっても、ひろってあげたからすごくやさしいと思いました。  
お母さん：おゆうちゃんは、大事にしているこまを練習でなくして毎日探していました。おゆうちゃんみたいになくしても、ちゃんと探して見つけてほしいです。

**4年 ゆう 『はなちゃんのみそしる』安武信吾 Eウ 聞いた人：お母さん**

ゆう：はなちゃんは、わたしより4さい小さいころからせんたくや、せんたくものたたみやおみそしる作りなどをしてるので、わたしもこれから何か一つは毎日手伝いができるといいです。  
お母さん：この本に出てくるお母さんは、闘病生活を送りながらも、病気・死に向き合い、自分が亡くなったからのことを考えて、娘さんに必要なことを教えていました。本当に強い人で、自分にできるかなと同じ母という立場から考えました。でも、残されたご家族の様子を天国から見て安心されていることだと思います。健康はありがたいです。

【9/8 提出分】

提出数/人数 (欠席)	提出数/人数 (欠席)
1年 23/23 ☆GOOD☆	4年 24/25
2年 18/20	5年 19/20
3年 18/21 (1)	6年 28/28 ☆GOOD☆
	全校 130/137



**4年 ひなと 『くにははじまり』赤羽末吉 (きょうかしよ) 16フ 聞いた人：お母さん**

ひなと：とてもむずかしいことばが多かったけど、さいごまでちゃんと読めてよかったです。  
お母さん：日本ができる昔話でした。男神と女神が二人で頑張って作り上げたのに、最後はにくしみ合うお話でした。女神が一日千人殺して、男神が一日五百人子どもが生まれるようにするようになったようです。

**5年 ちとせ 『木のすきなケイトさん』H・ジョゼフ・ホプキンス Eセ 聞いた人：お母さん**

ちとせ：ケイトさんはさばくに木を育てたので、木がとっても大好きなんだなと思いました。  
お母さん：一つのことをずっと信じて続けていけば、不可能なことはないのかなと思いました。森の緑は心をいやすので、サンディエゴの人たちはケイトのおかげで幸せな気分になれたのだらうと思います。

**6年 けんた 『東京大空襲』 (きょうかしよ) 21サ 聞いた人：お母さん**

けんた：戦争は、人の命をいっしゅんでうぼうから、やっぱり戦争はいけないと思いました。  
お母さん：大空襲の生々しい様子がかかれていました。今の平和では考えられないような悲惨な戦争の様子、絶対に戦争をしてはいけないと感じた今の気持ちをずっと忘れないでほしいと思います。

**6年 ひろゆき 『セミの一生』佐藤有恒 48カ 聞いた人：弟さん**

ひろゆき：ぼくは今まで、セミのことで知っていたのは鳴き声で名前がちがうことなどでした。それ以外のことをたくさん知れたのでよかったです。  
弟さん：セミの赤ちゃんは、アリみたいでびっくりしました。この本で、セミがクモにつかまったときの写真を見て、セミはクモにかまれそうかわいそうだなと思いました。この本を読んでよかったです。